

# 仕様書

## 1. 件名

2017 年度(平成 29 年度)放送大学「学生による授業評価」に関する調査・集計・分析業務

## 2. 概要

本件業務は、放送大学における「学生による授業評価」に関する調査・集計・分析を行うものである。「学生による授業評価」とは、自己点検・評価の一環として、学生の授業に関する理解の状況等を把握することにより、放送大学における教育内容及び方法の改善に資することを目的とするものである。

業務内容は、大きく分けて、(1)質問票発送業務、(2)質問票返信結果の入力業務、(3)調査結果の集計業務、(4)集計結果の分析・報告書作成業務、である。授業形態により業務内容の範囲が異なり、放送授業科目に関しては(1)～(4)、オンライン授業科目に関しては(3)及び(4)を行うものとする。

## 3. 調査対象科目・学生

### (1) 調査対象科目:

2017 年度第1学期及び 2016 年度第 2 学期 新規開設科目(計 74 科目)

学 部:放送授業科目 50 科目 オンライン授業科目 5 科目

大学院:放送授業科目 14 科目 オンライン授業科目 5 科目

### (2) 調査対象学生:

2017 年度第1学期履修登録者

## 4. 業務内容

### (1) 質問票発送業務

対象となる学生へ質問票を発送しアンケート調査を行う。

#### ① 対象科目:

放送授業科目(学部 50 科目 大学院 14 科目)

#### ② 対象者の選定・抽出

請負者は、対象となる授業科目の履修学生の中から学部科目は最大 250 名、大学院科目は最大 200 名を無作為抽出し、質問票を送付する対象者を選定すること。対象となる授業科目の履修者データ(以下、「履修者データ」という。)は、学園が請負者に提供する。

なお、各科目における履修学生数が、この上限に満たない場合は全数とする。

また、1 人の学生が複数の科目を履修している場合、1 人の学生に調査依頼する科目数は最大3科目までとすること。

加えて、大学院科目については、修士全科生を優先的に調査対象者とする。

※調査の対象となる学生種別は学部及び大学院で各 3 種別

学 部: 全科履修生、選科履修生、科目履修生

大学院: 修士全科生、修士選科生、修士科目生

### ③ 調査対象者に送付する文書の作成

請負者は、調査対象者に送付するため、学園担当者から原稿・フォーマットを受け取り、次の文書を作成し、対象者に送付する枚数を印刷すること。

- ・アンケート調査の依頼文書(A4 サイズ片面 1 枚)
- ・調査票(A4 サイズ両面 1 枚)

なお、調査票は学部と大学院の2種類を作成することとし、学園から提供を受けた調査票フォーマットに、回答の対象となる科目名と科目コードを明示すること。

また、学部と大学院の調査票を識別し易いように異なる色紙で印刷すること。

加えて、調査票郵送時に、科目名を明示しない予備の調査票を20部(学部用10部、大学院用10部)学園に納品すること。

### ④ 宛名ラベルの作成

請負者は、履修者データを元に、発送に使用する宛名ラベルを作成・印刷すること。

### ⑤ 封入・封緘作業

請負者は、発送用封筒(角2封筒:アドヘア糊)に、上記④で作成したラベルを貼付けし、ラベルに記載した者に送付すべき発送物を封入し、封緘すること。

#### 【発送物】

- ・上記③で作成した依頼文書1通
- ・調査依頼する科目の調査票1~3通(最大3科目分)
- ・返送用封筒1枚(長3封筒:ハイシール)

なお、発送用封筒及び返送用封筒(返送先記載済)は学園が請負者に提供する。

#### 【返送先】千葉市美浜区若葉 2-11

放送大学学務部教務課教務係

### ⑥ 発送作業

請負者は、封入・封緘した発送物を次の要領により発送すること。

- ・信書に該当するため、日本郵便株式会社による郵便(定形外郵便)を利用すること。
- ・発送にあたっては、学園担当者に発送物の確認を得た上、発送に必要な文書等を受け取ったのち、美浜郵便局(千葉市)へ発送物を持ち込み、発送すること。
- ・郵便料金は学園の負担とする。

## (2) 質問票返信結果の入力業務

① 請負者は、週に1度程度、学生から学園に返送された質問票を定期的に回収すること(詳細は学園担当者と相談すること)。

② 請負者は、回収したすべての調査票について、各設問項目の回答及び自由記述の内容を表計算ソフト「Microsoft Excel」によりデータ入力すること。

なお、データ化にあたっては、この後の集計・分析作業のため、「学部・大学院」の別、及び「科目」の別に区分できるようにしておくこと。

また、自由記述の内容について原票確認ができるように、各調査票にナンバリングし、入力するデータと突合できるようにすること。

## (3) 調査結果の集計業務

請負者は、質問票から入力した調査結果を、表計算ソフト「Microsoft Excel」により、次の分類の集計表等を作成すること。詳細は、過年度の授業評価のデータ及び冊子を参考とし、

学園担当者と相談のうえ決定すること。

なお、オンライン授業については、学園のオンライン授業システムから抽出したアンケート結果データを提供するので、当該データを用いて集計を行うこと。

## 【学部】

### I 単純集計表

- 1) 個票データ(科目ごと): 放送授業 50 科目、オンライン授業 5 科目
- 2) 全体一覧: 放送授業、オンライン授業の別に、次の各 3 種類  
(a)平均評点、(b)各科目と区分全体の平均との差、(c)肯定的評価割合

### II 属性別クロス集計表(a: 学生種別(コース)・試験状況別、b: 性別・年齢・職業別)

- 1) 全体一覧: 1 種類(放送授業のみ)
- 2) メディア別: 3 種類(テレビ、ラジオ、オンライン)
- 3) 専任教員・客員教員別: 放送授業、オンライン授業の別に、次の各 2 種類  
(i)専任教員、(ii)客員教員

## 【大学院】

### I 単純集計表

- 1) 個票データ(科目ごと): 放送授業 14 科目、オンライン授業 5 科目
- 2) 全体一覧: 放送授業、オンライン授業の別に、次の各 3 種類  
(a)平均評点、(b)各科目と区分全体の平均との差、(c)肯定的評価割合

### II 属性別クロス集計表(a: 学生種別(コース)・試験状況別、b: 性別・年齢・職業別)

- 1) 全体一覧: 1 種類(放送授業のみ)
- 2) メディア別: 3 種類(テレビ、ラジオ、オンライン)
- 3) 専任教員・客員教員別: 放送授業、オンライン授業の別に、次の各 2 種類  
(i)専任教員、(ii)客員教員

## (4) 集計結果の分析・報告書作成業務

請負者は、上記(3)で集計した結果に基づき、各種分析を行い、授業評価報告書を作成すること。分析方法、紙面構成、表・グラフの種類(数)等については、過年度の授業評価報告書を参考とし、その他詳細については学園担当者と相談のうえ決定すること。

なお、報告書は「Microsoft Word」で作成すること。

## (5) その他

- ① 請負者は、学園担当者が自由記述の内容を原票確認できるよう、調査票裏面を科目ごとにナンバリングの順にスキャンし、PDF ファイルにすること。なお、調査票原票については、請負者が一定期間保存しておくこと。
- ② 請負者は、集計作業にあたり、データクリーニング(欠票状況の確認、無記入、誤記入、矛盾等の修正)を確実にすること。

## 5. 納品期限及び納品物

- (1) 質問票の発送: 2017年8月10日(木)
  - ・封緘した発送物を学園担当者に確認し、発送手続を行う
  
- (2) 質問票調査結果の集計データ等: 2017年10月31日(火)
  - ・集計データのファイル一式(CD-RもしくはDVD-R)
  - ・調査票の裏面PDFファイル一式(CD-RもしくはDVD-R)
  - ・集計データの印刷物1式(集計データを印刷したもの)
  
- (3) 授業評価報告書: 2017年11月30日(木)
  - ・報告書のファイル一式(CD-RもしくはDVD-R)
  - ・報告書の印刷物1式(報告書データを印刷したもの)

## 6. その他

- (1) 業務遂行にあたっては、一般法令を遵守すること。
- (2) 業務遂行にあたっては、プライバシーの保護、データの機密性、調査の一貫性を担保する観点から、学園の承諾を得た場合を除き、再委託せず社内一括処理すること。
- (3) 本調査の過程及び調査の結果得られたデータ等については、本調査の目的以外には使用しないこと。また、当該データ等の使用・保存・処分にあたっては、秘密の保持に十分配慮すること。
- (4) 業務遂行にあたって必要となる一切の費用は、請負者の負担とすること(但し、仕様書に学園の負担とする旨記載がある場合は除く)。
- (5) 業務遂行にあたって疑問が生じた場合には、学園担当者の指示に従うこと。
- (6) 成果物に関する権利及び所有権は、学園に帰属すること。

【参考情報】

2016年度実績

調査対象科目数	72科目 (学部62科目、大学院10科目)
調査票送付対象科目数 ※	64科目(オンライン科目を除いた科目数) (学部56科目、大学院8科目)
調査票送付対象者数(最大数)	15, 600人 (学部56科目×250人+大学院8科目×200人)
実際の調査票送付対象者数(無 作為抽出後、延べ人数)	13, 519人
調査票を送付した人数(複数科目 対象を個人毎にまとめた実人数)	11, 311人
調査票を回収した件数	5, 567件
調査票の自由記述の入力文字数	654, 577文字
2016 年度学生による授業評価 報告書掲載 URL	<a href="http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/jugyohyoka/jugyohyoka_h28.html">http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/jugyohyoka/jugyohyoka_h28.html</a> 放送大学 HP → 放送大学とは → 評価「学生による授業評価」

2017年度予定

調査対象科目数	74科目 (学部55科目、大学院19科目)
調査票送付対象科目数 ※	64科目(オンライン科目を除いた科目数) (学部50科目、大学院14科目)
調査票による対象者数(最大数)	15, 300人 (学部50科目×250人+大学院14科目×200人)

※オンライン科目については学園がオンライン上でアンケート調査するため、調査票用紙を配付する対象とはしない。オンライン科目にかかる結果データは、集計・分析時に学園から請負者に提供する。